



笹山小学校 学校だより

あいさつの大切さ 学校長 三瓶 徹

私たちの生活の中で、言葉によるコミュニケーションは欠かすことはできません。そして、その言葉のもつ意味はとても重要です。それは、温かみのある言葉によって励まされたり勇気づけられたり、その反対に冷たい言葉により落ち込んだり自信をなくしたりすることがあるからです。言葉は人と人をつなぐ文化であり、より良い人間関係を築くための大切な道具の一つとして大切にしていかなければなりません。たとえば「おはようございます」は敬いの心をもって相手に呼びかける言葉です。朝からお互いに言葉をかけあって一日のスタートをさせることはとても気持ちがいいものです。あいさつは、互いのコミュニケーションを深める大切な言葉。そして、あいさつは互いの存在を認めているという、人権尊重の精神につながるという意味からも大切です。

毎朝、学校の正門で登校安全指導をしていると、子どもたちや保護者、地域の方々から「おはようございます」と元気にあいさつをされ

ます。その声と一緒に、みなさんの素敵な笑顔が輝いています。私は、今日も素晴らしい一日が始まる予感がします。一声の「あいさつ」が、私たちの心を和ませ、そして活力を与えてくれます。

自分を取り巻く家族や地域の人に、そして先生や友だちに元気でさわやかなあいさつを交わすことは、人と人の心をつなぐ架け橋であると思います。みなさんも、互いにあいさつを交わすことで、すがすがしい気持ちになった経験があるでしょう。あいさつは「心の窓を開く第一歩」であり、豊かな人間関係を育むためにたいへん重要なことだと考えています。また、「ありがとう、すみません」などという感謝の心や素直な気持ちを表す言葉も、あいさつと同様に互いの良い人間関係を築く上で欠かせないことです。

笹山小学校の子どもたちは、元気にあいさつをしてくれてたいへん気持ちがよいです。これは、素晴らしいことだと思います。子ども同士、職員と子ども、職員同士が気持ちのよい「あいさつ」をもっともつとできる学校を目指していきたいと思っています。

私たちは、人と人のかかわり、慈しみの原点である「あいさつ」を昔から大切にしてきました。これからも、豊かな人間関係を築く一歩として、あいさつの輪を広げ、学校を社会を優しく温かい空間にしていってください。